

「図書館の「捨てると残す」への期待と不安

—出版産業の危機の中で

／書き手として、利用者として」

講師：永江朗氏（作家）

主催：特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

幅広い分野に活発な執筆を続ける永江朗（ながえあきら）さんは、同時に「書齋の延長としての公共図書館」を希望する図書館利用者でもあります。これまであまり図書館への発言はされなかったが、図書館にはどんな手ごたえを感じておられるでしょうか。

永江さんは『「本が売れない」というけれど』（ポプラ社新書 2014年11月刊）などを通じ、最近の出版状況の危機の問題には、出版・出版流通内部の課題についても率直で鋭い分析・提言をしておられます。

本の書き手であり長年の利用者でもある永江さんに「図書館のいま」はどう見えているのか。特に、収集した資料の維持・保存・除籍の問題についてはどうか。図書館を、危機を深める出版の問題に重ね合わせながら語っていただきます。

日時：2017年5月21日（日）

午後 3:20—4:40

（午後2時から3時は、多摩デポ総会を開催）

会場：国分寺労政会館地下 第1会議室

（JR国分寺駅南口徒歩5分）

国分寺市南町 3-22-10 TEL：042-323-8515

参加費無料 事前申込不要（先着70人）

（会員外のどなたにも聞いていただける講演会ですが、会員参加者優先）



《主催：問い合わせ先》

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

●HP：<http://www.tamadepo.org/> ●E-Mail：depo_tama@yahoo.co.jp

●TEL&FAX：042-484-3945（不在が多いので問い合わせはメールで）

「多摩デポ」については、ホームページもご覧ください。